



八王子市立たがの杜小中学校

校長 北川 大樹

1 めざす学校

「地域とともにある学校」という八王子市立学校の理念の下、学校運営協議会の目標「地域社会・家庭・学校を繋ぎ、支え合う協働体制を構築し、健やかな子どもを育てる」を踏まえ、めざす学校像として「地域で、地域と共に学ぶことのできる多賀の学び舎」を掲げる。

本校に関わるすべての人の安全と人権が守られ、居場所と活躍の機会があることを基盤とし、具体的な学校像を設定する。

- ① 確かな学力を身に付けさせる学校
- ② 一人ひとりの良さが伸ばされ、活かされる学校
- ③ 信頼関係のある温かい学校
- ④ 地域社会と協働する学校

(1) 教育目標 「知性」「公正」「貢献」

日本国憲法・教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨及び八王子市教育委員会教育目標を踏まえ、共生社会の担い手・持続可能な社会の創り手として、知性、感性に富み、健康な精神とたくましい身体を養い、心豊かな人間を育成するため、次の目標を設定する。

【知性】自ら学び考える人

【公正】思いやりがあり、責任ある行動のできる人

【貢献】心身ともに健康で社会に役立つ人

(2) めざす教師像 「高度専門職として学び続け、社会人として範となる教師」

地域社会の「知」のセンター的機能を発揮する使命を果たすため、象徴的存在である教師像を設定する。

- ① 人権尊重の理念を理解し、深い愛情を注ぐ教師
- ② 組織の一員として協働し、職務を遂行する教師
- ③ 真摯に研究と修養に励み、教育観を磨く教師
- ④ 熱意と使命感をもち、信頼される教師

2 中期的目標と方策

(1) 「知性」

ア 中期的目標

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の向上により、主体的に学ぶ態度を育成する。

イ 方策

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ② 児童・生徒一人ひとりの学習定着状況の正確な把握と適切な指導・支援
- ③ 児童・生徒一人ひとりの問題解決的な学習の充実を図るための授業展開・組み立ての工夫・改善
- ④ 論理的思考力、批判的思考力の向上に向けたプレゼンテーション等表現活動の充実
- ⑤ 読書センター、情報センター、学習センターとしての学校図書館の機能の整備と活用
- ⑥ 「八王子市版 GIGA スクール」の定着による ICT 活用技能の向上
- ⑦ 必要に応じた補充学習の実施

(2) 「公正」

ア 中期的目標

自他を尊重しながら粘り強く他者と協働し、人権感覚を洗練する。

イ 方策

- ① 人権教育の推進を通して、自他を尊重し、いじめを許さない思いやりのある態度の育成
- ② 明るく爽やかな挨拶を交わし合う教育環境の整備
- ③ 「認め、励まし、褒め、支える」指導・支援、自尊感情や自己肯定感、自己有用感、信頼関係の構築
- ④ 誰一人取り残さない特別支援教育の充実による「共生社会の担い手」の育成
- ⑤ 考え議論する道徳授業の展開と充実
- ⑥ 自主的・実践的な集団活動の充実により、主体性や忍耐力の育成、達成感や成就感の感得
- ⑦ いじめを許さない学校組織と学校いじめ対策会議の機能発揮
- ⑧ 一人ひとりの多様なニーズに応じた登校支援の充実

(3) 「貢献」

ア 中期的目標

持続可能な社会の実現に向け、自らの力を活かそうとする態度、社会参画意識と勤労観・職業観を醸成する。

イ 方策

- ① 義務教育9年間を見通し、地域に根ざし切れ目なくつなぐ系統的・継続的な教育活動
- ② 地域運営学校として、地域と協働した教育活動の開発
- ③ 地域社会・家庭と教育活動のねらい等の共通理解
- ④ 多様な教育力の活用とキャリア教育の充実
- ⑤ 「地域で・地域と共に・地域を学ぶ」系統性のある郷土学習
- ⑥ 危機回避能力の向上と自分の身は自分で守るための防災教育の充実
- ⑦ 食育の充実と生活習慣の定着
- ⑧ 地域と共に学ぶ機会としての保幼小連携の充実、地域ボランティア活動等の機会提供
- ⑨ 学校評価における地域・保護者との対話を通じた学校運営の改善

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 「知性」

【2(1)イ①】

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

校内外を問わず、教師一人ひとりの課題に即した授業公開・授業研究に取り組み、年間を通して相互啓発のある授業改善に取り組む。

【2(1)イ②】

「児童・生徒一人ひとりの学習定着状況の正確な把握と適切な指導・支援」

「はちおうじっ子ミニマム」及び各種学力等調査の結果を正確に把握した上で、つまずきの原因と解消の手だてを踏まえて個別に繰り返し指導・支援し、義務教育修了段階までに社会生活を営むための最低限の知識・技能を身に付けさせる。

【2(1)イ③】

「児童・生徒一人ひとりの問題解決的な学習の充実を図るための授業展開・組み立ての工夫・改善」

「何ができるようになるか」という目標、「何を学ぶのか」という内容、「どのように学ぶのか」という方法を明確にした上で、単元や題材、内容のまとまりを見通して、問いの形で示す「問題」を「解決」する授業を展開する問題解決的な学習の充実を図る。

【2(1)イ⑤】

「論理的思考力、批判的思考力の向上に向けたプレゼンテーション等表現活動の充実」

単元や題材、内容のまとまりを見通して、言語のみならず音楽、作品、身体表現を含む表現活動を位置付ける。思考を伴う表現活動を意図的に設定することで、理由や背景、関係性を追究する「なぜ」を重視した授業を展開し、見た目や思い込みに惑わされず「真実」を求める態度を育成する。ただし、表現活動の設定に当たっては、児童・生徒の発達や特性等を十分に踏まえることとする。

② 「公正」

【2(2)イ⑥】

「自主的・実践的な集団活動の充実により、主体性や忍耐力の育成、達成感や成就感の感得」

令和6・7年度八王子市教育委員会研究指定校として**取り組んだ研究成果を踏まえ**、特別活動における「学級活動」の指導方法の工夫・改善、「児童会・生徒会活動」の接続、「学校行事」の系統性について**引き続き**研究に取り組み、実践を見直すとともに義務教育9年間を見通した全体計画・年間指導計画を検討する。

③ 「貢献」

【2(3)イ⑤】

「『地域で・地域とともに・地域を学ぶ』系統性のある郷土学習」

令和6・7年度八王子市教育委員会研究指定校として**取り組んだ研究成果を踏まえ**、総合的な学習の時間を中心に地域教材を活用した実践を通して、内容構成・系統性を見直し、義務教育9年間を見通した全体計画・年間指導計画を再構築する。

(2) 重点目標と方策

ア 授業改善

重点目標① 授業では「日付、単元・題材名、問題（ねらい・目標）」が明示されている。

※100（授業観察）

学習の定着、学習意欲の向上のための基礎を徹底し、生徒にとって「分かる」「できる」授業

を標準化する。

イ 学力の定着

重点目標② 義務教育修了段階において、全生徒が「はちおうじっ子ミニマム」を習得している。

※100（「はちおうじっ子ミニマム」結果）

第1回で誤答だった問題については、誤答の原因を「学力定着プロジェクトチーム」、各学年で分析し、第2回に向けた傾向と対策を講じる。

重点目標③ 「八王子市学力定着度調査」をはじめとする、各種学力・学習状況等の結果に基づき、補習等の取組が行われている。

※90（「八王子市学力定着度調査」結果と補習の取組）

基礎的・基本的な学習内容が身に付いていない生徒を特定し、必要に応じて学年等を遡って補習等を実施する。

ウ 特別支援教育

重点目標④ 全ての教師が「インクルーシブな教育」を理解し、実践している。

※90（学校評価）

障害特性を個性として捉え、交流及び共同学習、副籍交流など、適切な相互理解と専門的な指導により、児童・生徒一人ひとりの学習や活動が適切に設定され、充実が図られている。

エ いじめの防止等

重点目標⑤ いじめを積極的に認知するが、全て解消している。

※90（学校いじめ対策会議）

法、条例、基本的な方針等の規定に則り、週1回以上の学校いじめ対策委員会、「いじめ対応の時間」を通して学校組織としていじめに対応する。

オ 登校支援

重点目標⑥ 不登校児童・生徒のうち、専門的な相談・指導につながっていない児童・生徒がいない。

※100（年度末調査）

当該生徒の思いや願いを踏まえ、保護者とのコミュニケーションを十分に図った上で、授業のオンライン配信、校内別室、公共施設での支援など、八王子市教育委員会が策定した「つながるプラン」における手立てを講じることで専門的な相談・指導につなげる。

重点目標⑦ 進路希望のある不登校生徒のうち、進路未決定となっている生徒がいない。

※100（年度末調査）

当該児童・生徒の思いや願いを踏まえ、保護者とのコミュニケーションを十分に図った上で、適切に相談・指導する。

カ 学校組織

重点目標⑧ チームとしての学校組織の機能強化が図られている。

※90（学校評価）

校長、副校長の指導の下、校務分掌の遂行、起案・決裁の過程において、OJTの中軸である4級職を中心に、ミドルアップ、ボトムアップで主体的に課題解決できる組織が構築されている。